

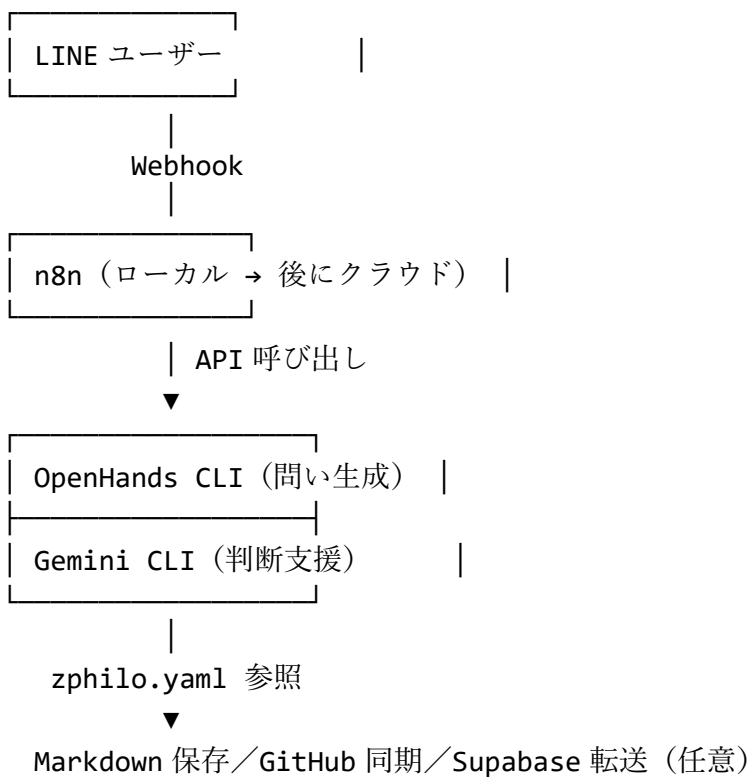
Z-PHILO フェーズ 0 (MVP) システム設計書

1. システム概要

Z-PHILO は、ユーザー自身の理念（フィロソフィ・ビジョン・バリュー）を可視化し、哲学的な問いと AI による判断補助を通じて行動変容を促す CLI+チャット UI 連携型の対話システムである。フェーズ 0 では LINE UI と n8n の連携によって、ユーザーが気軽に問いを受け取り、思考と対話を通じて日々の選択をアップデートできる状態を実現する。

2. システム構成

2.1 全体構成図（n8n ローカル運用→クラウド移行前提）



3. コンポーネント設計

3.1 zphilo.yaml

- フィールド構成：

philosophy: 「信条」

mission: 「使命」

vision:

year_5: 「5 年後」

year_10: 「10 年後」

year_20: 「20 年後」

values:

- situation: 「状況」

action: 「こう判断する」

- 管理方法：VS Code + GitHub + Claude Code 支援

3.2 OpenHands CLI

- コマンド：openhands today
- 機能：理念から問いを生成、n8n または LINE 応答に出力

3.3 Gemini CLI

- 入力：問い + zphilo.yaml
- 出力：行動指針／価値判断／理由付け

3.4 n8n フロー構成

- トリガー：LINE Bot Webhook 受信
- アクション：
 - テキスト解析（「問いちょうだい」「判断お願い」等）
 - CLI スクリプト実行（ローカル）or HTTP API 実行（クラウド化時）
 - LINE へ応答返送
 - ログ保存（Supabase, Notion, Markdown）

3.5 CLI→API 化（任意 Render 用）

- FastAPI で Gemini CLI or OpenHands CLI を外部呼び出し可能に
 - 認証付き Webhook 用エンドポイント /query /reflect
-

4. 仮想環境設計（Miniconda）

4.1 環境名：zphilo-dev

4.2 Python 依存パッケージ

- openai, pyyaml, typer, rich, httpx, jinja2

4.3 Node.js CLI 用

- OpenHands CLI／Gemini CLI：Node + npm
- 管理：nvm で Node バージョン固定（例：18.x）

4.4 environment.yml 構成例

```
name: zphilo-dev
dependencies:
  - python=3.11
  - pip
  - pip:
    - openai
    - pyyaml
    - typer
    - rich
    - httpx
    - jinja2
```

5. 外部サービス連携

サービス	用途	備考
LINE Bot	ユーザー入力と通知	n8n 経由で Webhook 受信
Gemini CLI	AI による判断・生成補	無料枠あり、長文コンテキスト処理

サービス	用途	備考
	助	向き
Claude Code	YAML／CLI 設計補助	初期構造・構文エラー確認などに活用
GitHub	理念構造・コード管理	長期的に理念の成長を追跡
Supabase	会話・問い・応答ログ保存	Markdown バックアップ or 可視化ダッシュボード可
Notion	哲学ログの手動・自動記録	思考整理＋振り返りジャーナルとして併用可能

6. セキュリティ・管理

- Gemini API Key は .env で管理
- LINE Webhook は署名検証付きで n8n 受信
- FastAPI 化した場合は Token 認証導入
- GitHub はプライベート Repo 推奨

7. 今後の拡張方針（要件定義とのリンク）

- dify 連携／Web UI 拡張（Next.js）
- 複数の哲学モデル切替：洪沢・福澤・西田・松下など
- 「自分の理念と偉人のズレ」フィードバック機能
- GPTs への統合：理念ベースの壁打ちパーソナル GPT 提供

以上が、Z-PHILO フェーズ 0（LINE UI × n8n CLI 連携）のシステム設計書である。